

「ゴーグルのぞくと奈良公園や清水寺」体感

VR修学旅行を出前授業

青翔中学 科学技術の知識深める

御所市の県立青翔中学校（数田真孝校長）で7月28日、バーチャル修学旅行体験の出前授業が行われた。生徒らはグループワークなどを通して最先端デジタルテクノロジーの知識を深めた。

この日は2、3年生が参加。バーチャル機器を手掛ける「サンリアリティ」（東京都）の西條康介社長（47）

が講師を務め、360度VR（バーチャルリアリティ＝仮想現実）映像で体験する京都、奈良旅行を紹介

学生らはスマートフォンアプリ映像を専用ゴーグルでのぞき込み、清水寺や奈良公園への修学旅行を「体感」した。グループワークは「テクノロジーを活用した未来を

考える」をテーマに各組で討論。生徒らは「戦争の疑似体験で恐ろしさを未来に伝える」「仮想空間の学校に先生や生徒がアバター（分身）で登校する」「ロボットが配達したり家を建てる」などの提案を発表した。

ことわざの「清水寺の舞台から飛び降りる」を体験できる映像も紹介。中学2年の松井大和くん（13）は、「映像は迫力があつた。未来がどうなるかわくわくする」と目を輝かせた。



スマートフォンに取り付けたゴーグルを通してVR映像を体験する学生
＝7月28日、御所市の県立青翔中学校・高校